

社会科学習指導案

単元名「戦国の世から天下統一へ」

令和5年10月 第6学年 指導者 塚越 佑

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、学習指導要領解説6年の内容(2)「我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。」に当たる。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
(カ) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解する。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

ここでは、我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表、その他の資料で調べ、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養うことを目的としている。

2 研究との関わり

本研究主題は『歴史分野において、「知りたい」「学びたい」と意欲的に学ぶ児童の育成—ICTを活用した「学習内容の整理」と「次の時代の予想」を通して—』である。

本単元では、「つかむ」過程で、前単元の予想を基に学習課題を設定する。そして「追究する」過程において、児童一人一人に本単元用の Google Jamboard のシートを用意し、そこへキリスト教の伝来や織田・豊臣の天下統一などについて、学習内容を短く黄色の付箋に入力させ、四つの視点に分ける活動を行う。学習内容をどの視点に適した内容か考えて整理させ、歴史的事象を多面的に捉えられるようにする。さらに、「まとめる」過程において、整理した学習内容を基にこの時代のまとめを行い、時代を大観して捉えられるようにする。

また、「まとめる」過程では、Google Jamboard に入力した学習内容や、次の時代(単元)に関係する資料を根拠として、次の時代がどうなるか予想する活動を行う。予想は視点ごとに、または複数の視点を関連させて考え、桃色の付箋で入力させる。各自が考えた予想をペアで意見交流させたり、全体交流で、ある児童の予想を取り上げ、それを深く掘り下げる質問を全体に対して投げかけたりすることで、児童の考えを広げるとともに、複数の視点を関連させて予想できるようにする。単元のまとめである本時でこの活動を取り入れることで、次の単元への興味・関心を継続させ、学習意欲を高められるようにするとともに主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養いたい。

3 単元の目標及び児童の実態

| | 目 標 | 児童の実態 |
|--------|--|---|
| 知識及び技能 | ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表などの資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。 | ・学習したことをタブレットでまとめる活動や学習のまとめを自分の言葉で書く活動が続けて行ったことで、学習内容を理解したり、時代を大観したりすることができる児童が増えている。 |

| | | |
|--------------|--|---|
| 思考力、判断力、表現力等 | ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表などで調べ、戦国の世の統一を果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現する。 | ・予想したり、まとめを書いたりする授業を継続して行ってきたことで、多くの児童が予想を書けるようになっている。次の時代を予想し文章で表現できる児童は半数程度である。 |
| 学びに向かう力 人間性等 | ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 | ・学習に興味をもち、気になることを質問してくる児童は3割程度いる。質問しなくても、興味をもって話を聞いている児童が大半である。 |

4 評価規準

| | |
|---------------|--|
| 知識・技能 | ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表、その他の資料で調べ、キリスト教の伝来や、織田・豊臣の天下統一を理解している。 ・調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が統一されたことを理解している。 |
| 思考・判断・表現 | ・世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問いを見出し、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一を果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間：本時第6時）

| 過程 | 時間 | ■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項 | 知 | 思 | 態 | ◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価 |
|------|----|--|---|---|---|---|
| つかむ | 1 | <p>[本単元の学習課題] リーダーとつながりの視点を意識して、二人の武将は、どのようにして天下統一をしたのか、追究しよう。</p> <p>■資料から、戦国大名がどのような戦い方をしているか読み取れるようにする。 □資料から、戦国大名がどのような戦い方をしているか読み取る。（★）</p> | ● | | | <p>◆長篠の戦いの資料から、戦い方や人物について読み取ることができる。</p> <p><Google Jamboard ノート（知①）></p> |
| 追究する | 1 | <p>■日本と外国の関わりについて、自ら調べたり、資料を読み取ったりできるようにする。 □日本と外国の関わりについて調べたり、資料を読み取ったりする。</p> | ○ | | | <p>◆日本と外国の関わりについて、自ら調べたり、「南蛮貿易」の資料から当時の様子を読み取ったりできる。</p> <p><Google Jamboard ノート（知②）></p> |
| | 1 | <p>■織田信長は、天下統一のために、どのようなことを行ったのか理解できるようにする。 □織田信長が天下統一のために行ったことを調べる。</p> | | ○ | | <p>◆織田信長が天下統一のためにどのようなことを行ったのか説明できる。</p> <p><Google Jamboard 観察・ノート（思①）></p> |
| | 1 | <p>■豊臣秀吉は、天下統一のために、どのようなことを行ったのか理解できるようにする。 □豊臣秀吉が天下統一のために行ったことを調べたり、天下統一後に行ったこと</p> | | ● | | <p>◆豊臣秀吉が天下統一やその後のために、どのようなことを行ったのか説明できる。</p> <p><Google Jamboard 観察・ノート（思②）></p> |

| | | | | | |
|------------------|-------------|--|--|--|--|
| | | についてまとめたりする。 | | | |
| ま と め る | 1 | <p>■前単元で行った戦国時代の予想が正しかったのか検証し、戦国時代についてまとめる。</p> <p>□学習内容を振り返り、予想したことが正しかったか検証する。</p> | | | <p>● ◆視点ごとに学習内容を振り返り、予想が一致していたか確認しようとしている。</p> <p><Google Jamboard 観察・ノート(態①)></p> |
| | 1 本 時 | <p>[本時のめあて] 戦国時代のまとめから、次の時代がどうなるか予想しよう。</p> <p>■学習したことや江戸時代の資料から、次の時代がどのような時代になるか予想し、学習意欲を高められるようにする。 ※次の時代=次の単元(江戸時代)</p> <p>□既習事項と資料を基に、次の時代がどのような時代になるのか予想する。</p> | | | <p>○ ◆既習事項や資料を根拠に、次の時代がどのような時代になるのか予想し、次の単元への学習意欲を高めている。</p> <p><Google Jamboard 観察・ノート(態②)></p> |

II 第6時の学習

- 1 ねらい 学習したことや江戸時代の資料から、次の時代がどのような時代になるか予想することで、次の単元に意欲をもって臨めるようにする。

2 展開

| 主な学習活動 予想される児童の反応 [S] ★ICT活用に関する事項 | ◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点) |
|--|--|
| <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ(★)。(導入5分)</p> <p>S: 戦国時代は織田信長が鉄砲を使っていたな。</p> <p>S: ザビエルがキリスト教を伝えた。南蛮貿易など外国と関わりがあったな。</p> <p>S: 豊臣秀吉が天下統一をして、刀狩りや検地を行い、身分の違いがはっきりしたな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 戦国時代のまとめから、次の時代がどうなるか予想しよう。</p> </div> | <p>◎全員が共通事項を振り返れるようにするために、前時までに一人一人がまとめた Google Jamboard を全体で確認する。付箋=黄色</p> <p>○多くの児童が意欲的に取り組めるようにするために、振り返りでは、発言の少ない児童を意図的に指名する。</p> <p>○本時の見通しをもてるようにするために、児童の言葉を生かしてめあてを立てる。</p> <p>◎児童が「本時のめあて」を達成できるようにするために、どのような「まとめ」になるのか確認する。</p> |
| <p>2 江戸時代の様子を資料から考える(★)。(展開①10分)</p> <p>資料①「熙代勝覧」より</p> <p>S: 色々なお店ができて賑わっているな。</p> <p>S: 刀を持っている人がいるが、色々な服装をしているな。</p> <p>資料②「長崎港図」より</p> <p>S: 大きな船があって、二つの旗があるな。</p> <p>S: 外国の国旗があるので、外国と交流している。</p> | <p>◎江戸時代の予想をより広げられるようにするために、江戸時代の様子を示した三つの資料を提示する。</p> <p>①「熙代勝覧」</p> <p>②「長崎港図」</p> <p>③「三人の天下統一への歩み」</p> <p>○資料を各自がしっかり見られるようにするために、個人のタブレットに資料を添付する。</p> <p>◎予想をしやすくするために、資料の読み取りが不十分なときは修正し、正しく読み取れる</p> |

| | |
|--|--|
| <p>資料③「三人の天下統一への歩み」より S：信長、秀吉と支配する範囲が広がっている。 S：家康は秀吉の後だから、全国を支配したのではないか。</p> | <p>ようにする。 ○予想する時間を確保するために、資料の読み取りについては多くの時間を費やさないようにする。</p> |
| <p>3 次の時代がどのような時代になるのか、既習事項と資料を基に予想する。(★) (展開②20分)</p> <p>○一つの視点での予想④と根拠⑤</p> <p>S：【生活】 ④平和な生活⑤町が賑やか/敵がない ④身分が分かれる⑤園刀狩/検地/色々な人がある</p> <p>S：【道具/文化】 ④鉄砲なくなる⑤園戦いが減る ④外国の文化⑤園お店が増えている/オランダ船</p> <p>S：【リーダー】 ④外国と戦う⑤園国内に敵がない/外国船 ④江戸時代は長い⑤園敵がない/町が賑やか</p> <p>S：【つながり】 ④アメリカ⑤園違う国とも貿易 ④日本人も外国へ⑤園貿易が続く/外国船</p> <p>○複数の視点での予想④と根拠⑤</p> <p>S：【つながり&道具】 ④外国から新しい物⑤園南蛮貿易⑤園鉄砲</p> <p>S：【生活&リーダー】 ④強い将軍⑤園刀狩や検地⑤園町が賑やか</p> <p>S：【リーダー&つながり】 ④外国と手を組む⑤園時代が長く続く⑤園欧州人 ④外国と戦い⑤園国内に敵なし⑤園明を攻めた</p> <p>S：【生活&道具】 ④農民も住みやすい⑤園戦いが減る⑤園町が賑やか ④キリスト教が流行⑤園大名に流行⑤園キリスト教</p> | <p>○視点は継続して行ってきた【生活】【道具/文化】【リーダー】【つながり】を用いることを確認する。付箋＝青</p> <p>○全体で確認しやすくするために、視点の位置を統一する。黒板も同様にする。</p> <p>○低位の児童も予想できるようにするために、Google Jamboard の付箋を活用し、短い言葉で書かせる。付箋＝桃色</p> <p>○多くの児童が予想を書けるようにするために、個別支援を行う。①考えやすい視点から書かせる。②「当時の人々の願い」が何か問い、願いが叶った姿を考えさせる。</p> <p>○児童が最終的に考えを深め合えるようにするために、途中までの予想も認め、称賛する。</p> <p>○自分の考えを自信をもって発表できるようにするために、発表前に意見交流させる。</p> <p>○何を根拠に予想したのか視覚的に捉えやすくするために、Google Jamboard の付箋と同じ色で板書する。</p> <p>○他者の考えを理解したり、自分では気付かなかった考えに気付いたりできるように、「なぜこの予想をしたと思うか」を全体に発問し、考えさせる。</p> <p>○多くの児童が多面的多角的な予想ができるようにするために、児童の「複数の根拠を基にした予想」や「二つ以上の視点を関連付けた予想」を取り上げる。</p> |
| <p>4 友達の予想や板書から、江戸時代の予想を文章にまとめ、調べたいことや確かめたいことを記述する。 (終末 10分)</p> <p>S：江戸時代は徳川家康が全国を支配した。天下統一したことで戦いが減り、農民たちもお店などを開いている賑やかに平和に暮らすことができた。 調徳川家康はどのような政治をしたのか。 調外国とはどのように交流していたのか。 確武士と農民は仲良くしていたのか。 ※調…調べたいこと 確…確かめたいこと</p> | <p>○全員が根拠を基に予想ができるようにするために、板書を振り返り、予想と根拠が色分けされていることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆評価項目 既習事項や資料を根拠に、次の時代がどのような時代になるのか予想し、次の単元への学習意欲を高めている。 <Google Jamboard 観察・ノート(態②)></p> </div> <p>○今後も、児童が主体的に時代の変化を予想する活動に取り組めるようにするために、予想することで関心や意欲が高まるよさを確認し、意欲をもった児童を称賛する。</p> |

3 板書計画

| | | |
|-------------------------------|--------------|--------------------|
| 黒板 | 生活 | リーダー |
| ④ 戦国時代のまとめから、次の時代がどうなるか予想しよう。 | | |
| 資料① 熙代勝覧 | 資料② 長崎港図 | 資料③ 三人の天下 統一 |
| ⑤ | 道具/文化 | つながり |

本報告書に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

各社の商標又は登録商標

Google Jamboardは、Google LLCの商標又は登録商標です。

なお、本文中には、TMマーク、[®]マークは明記していません。